

見ても、こういう事業に手を貸してほしいとか、こういう形で支援してやってくれ、ほかではこう頑張っている等と、叱咤激励のほう政策的に取り上げやすい。しかし、それだけではダメなので、農家、一次産業の部分に対して、少しでも力になれればという事で、施策を今までも遂行している。

問 町長の任期までの令和8年11月まで、優秀な人材を国内から探し、掛かる費用全てを町で負担し、令和の幌延遣唐使とし、使いを出してはどうか。

町長 行政が牛乳・乳製品の製造・加工、販売に直接的に関わっていくよりも、これらのハードルを一つ一つクリアしていく熱意と将来ビジョンを持ち合わせた方がいた場合に、全力で支援やお手伝いをしていく事の方が重要であると考えます。

問 農業分野における地域おこし協力隊の現状は。

町長 現在2名が農業支援員として活動していて、このまま任期まで活動を継続した場合、目標年の令和6



年には、延べ人数6人となるので、前期基本計画の目標は達成できる。昨年8月に活動を開始し、まもなく一年になり、今は初めての牧草収穫作業を経験している最中。

問 今後のスケジュールは。

町長 3年間の任期終了後の新規就農・雇用就農を事業の目標に置きつつ、本人が希望する酪農経営ができるよう担い手育成センター等の関係機関と連携し、しっかり相談ののっていきたい。また、第三者継承を希望する農家とのマッチングを進めていきたい。

問 今一度、第三者継承希望農家のPRを実施してほしい。

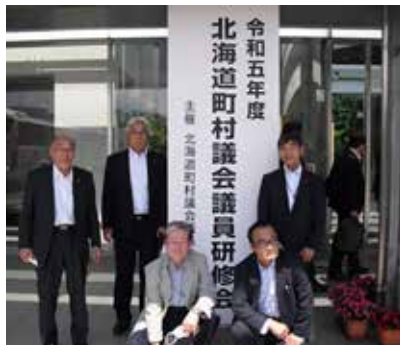
町長 PR活動等を勉強会開いた中で、早いうちにお声掛けをやっていく。

北海道町村議会議員研修会
令和5年7月4日

令和5年度の全道町村議会議員研修会が、札幌コンベンションセンターにて開催された。

講師に、まず「ウクライナ危機後の世界と日本」と題して、兵庫震災記念21世紀研究機構理事長五百旗頭真氏が、プーチンのウクライナ侵攻による今後のウクライナ情勢を解説された。

次に、政治ジャーナリストト田崎史郎氏による「日本政治の舞台裏」について、政治取材歴43年余りの豊富な取材経験を通じ、今の政界の舞台裏、今後の政治情勢について講演された。



議会の動き



- 7月3日 ▶ 北留萌消防組合臨時会(無量谷議員出席) 交通安全祈願祭(西澤議長出席)
- 7月4日~5日 ▶ 北海道町村議会議員研修会(齋賀副議長他4名出席)
- 7月4日 ▶ 酪農担い手センター総会(西澤議長出席)
- 7月6日 ▶ まちづくり常任委員会 議会報発行編集委員会
- 7月18日 ▶ 幌延深地層計画令和4年度調査研究成果報告会
- 7月23日 ▶ おもしろ科学館開催

第6回 まちづくり常任委員会
6月19日

○調査事項
▽組織機構改変案の概要について

職員年齢階層の空洞化や中堅職員の早期退職により、グループ制の機能維持が難しい状況です。町長部局の6課を4課に改編し、課長補佐制に戻し、35ある係を26程度にし、グループ制の利点を多少残したい。令和5年10月1日から、施行したい。

第7回 まちづくり常任委員会
7月6日

○調査事項
▽組織機構改編案の概要について

問 なぜ今、この時期に出てくるのか。
答 今までは、理事者側からトップダウン方式でやってきた。今回は、課長職の声を組織改編に反映できるようにしたい。
問 課を減らすと課長職に上がるチャンスがないのでは。
答 適格者が出てきたら、担当課長の職を設けて、昇任ということもあり得る。

問 課長職が2つ減ることに何か意義があるのか。
答 課長の人数は変えないようにする。
問 長年同じ部署にいる方の今後の待遇は。
答 少し回して、新陳代謝を図っていかうと考えている。